

# 一般財団法人岡山県国際交流協会 令和2年度事業報告

(下線は新規事業)

## 1. 国際交流の推進に関する事業

### (1) 海外移住者関係団体活動支援事業 [支出額 0 千円]

内 容 海外移住者の交流、又は移住者等と県民及び県内に在住する移住者等の家族との交流に貢献している関係団体に対し、活動支援を実施  
活動費交付 0 件

### (2) 岡山を知ろう 交流バスツアー [支出額 0 千円]

内 容 貸切りバスで県内の観光地を巡り、県内在住の外国人及び留学生に岡山への理解を深めてもらうとともに、日本人参加者との交流を図る。  
※新型コロナの影響で中止

### (3) 海外技術研修員等ネットワークづくり [支出額 16 千円]

内 容 帰国した研修員に向けて、協会会報誌の研修員関連記事や岡山県に関する外国人向け情報等を日本語・英語の2か国語でメールや郵送により情報発信した。

### (4) 留学生と県民との交流会 (1回) [支出額 116 千円]

実施日 令和2年12月19日(土)

内 容 モンゴル、台湾、ベトナム、タイ、中国、マレーシア出身の岡山に在住している留学生を10名迎え、出身国・地域の紹介やクイズなどで交流した。  
※新型コロナによりオンラインで回数を減らして実施

参加者 18名

### (5) 留学生等による国際理解学習支援プログラム [支出額 172 千円]

実施期間 令和2年9月～令和3年1月

内 容 小学校が企画した授業案に適した留学生等を講師として派遣し、自国紹介、自国の歌、ゲーム等を通じ、児童と交流を図った。  
※新型コロナによりオンラインで実施校を減らして実施

講 師 10名(オーストラリア、フィリピン、ベトナム、中国、ネパール、韓国、アメリカ)

実施校 4校

## 2. 国際協力・貢献に関する事業

### (1) 国際貢献ローカル・トゥ・ローカル技術移転事業〔支出額0千円〕

内 容 海外から、技術研修生を受け入れる事業  
※新型コロナの影響で中止

### (2) 国際貢献NGOフェア〔支出額30千円〕

実施期間 令和3年1月7日(木)～3月24日(水)  
場 所 岡山国際交流センター 1階 ロビー 他  
内 容 NGO 団体が活動状況等をパネル展示等により紹介 (1 団体1 週間)  
希望する団体は講演会等を開催  
展示団体 11 団体  
講演会開催団体 3 団体  
主 催 (一財)岡山県国際交流協会  
共 催 (特活)岡山県国際団体協議会

### (3) 国際貢献・協力セミナー〔支出額21千円/収入額11千円(共催負担金)〕

実施日 令和2年10月11日(土)  
内 容 講演【エシカルに暮らす～新しい幸せのものさし～】  
末吉 里花氏(一般社団法人エシカル協会)  
※新型コロナによりオンラインで実施  
参加者 45名  
共 催 岡山発国際貢献推進協議会、(特活)岡山県国際団体協議会

### (4) SDGs推進事業〔支出額64千円〕

実施日 令和2年12月12日(土)  
内 容 ① 基調講演  
「西粟倉村のむらづくり～生きるを楽しむ～」  
上山 隆浩氏(西粟倉村地方創生特任参事)  
「海外事業と国内事業～まちづくりという視点で～」  
角免 昌俊氏(NPO 法人ピースウインズ・ジャパン 管理部部長)  
② 活動事例発表  
「地域の課題に挑む～海ゴミの回収～」  
山陽学園中学校・高等学校地歴部  
「TABLE FOR TWO～食を通じて国際貢献～」  
中澤 拓也氏(岡山大学3年・TABLE FOR TWO-UA 中四国支部代表)  
※新型コロナによりオンラインで実施  
参加者 29名  
共 催 JICA 中国、岡山発国際貢献推進協議会、岡山フェアトレードの会  
後 援 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、岡山ESD推進協議会

### 3. 国際理解に関する事業

#### (1) 英語で話そう〔支出額 64 千円〕

実施日 令和3年2月23日(火祝)  
内 容 リチャード・レマー氏(元大学教授)による講演及びワークショップ  
※新型コロナによりオンラインで実施  
参加者 5名  
対 象 日常英会話のできる方  
参加費 協会会員/外国人/高校生以下 無料、一般2,000円

#### (2) 地球市民講座〔支出額 150 千円〕

実施日 令和2年12月5日(土)  
内 容 テーマ「ポストコロナの働き方の改革&世界からのレポート」  
講演① 田宮 一夫氏(一般社団法人日本テレワーク協会専務理事)  
講演② 新川 美佐絵氏(JICA 中国)  
世界からのレポート(イタリア、オーストラリア、韓国、タイ、中国)  
※新型コロナによりオンラインで実施  
参加者 28名

#### (3) 外国語講座(中国語・インドネシア語)〔支出額 16 千円〕

##### ① 中国語講座

実施日等 <入 門> 毎週土曜日 17時40分~19時10分  
<初 級> 毎週土曜日 19時20分~20時50分  
<中 級> 毎週日曜日 17時~18時30分  
<上 級 A> 毎週土曜日 10時~11時30分  
<上 級 B> 毎週日曜日 10時~11時30分  
実施回数・受講者数 <入 門> 延 38回、延 130名  
<初 級> 延 38回、延 65名  
<中 級> 延 38回、延 190名  
<上 級 A> 延 38回、延 137名  
<上 級 B> 延 38回、延 121名  
受講料 6か月間 テキスト代別 高校生以下 13,000円、  
協会会員 15,000円、一般 18,000円  
共 催 岡山県華僑華人総会

##### ② インドネシア語講座

実施日等 毎週土曜日 13時~14時45分  
実施回数・受講者数 <初 級> 延 32回、延 362名  
受講料 1年間 テキスト代別 15,000円  
共 催 岡山インドネシア友好協会

(4) 国際理解学習プラン講師派遣事業 [支出額 294 千円]

実施期間	令和2年9月～令和2年12月
内 容	県内の6つのNGO団体を、小中高校 計13校(全県から公募)へ講師として派遣し、各校で各NGO作成の学習プランを実施
派遣団体	◦ 岡山青年国際交流会 ◦ (特活)岡山日本語センター ◦ ダフェプロジェクト ◦ 岡山ユニセフ協会 ◦ アジア農村協力ネットワーク岡山 ◦ (特活)AMDA 社会開発機構
実施校	小学校 3校(倉敷市2、備前市1) 中学校 5校(倉敷市2、玉野市1、早島町1、牛窓町1) 高等学校 5校(岡山市1、倉敷市2、真庭市1、新見市1)

(5) 図書資料室の運営

【海外マガジン リサイクル週間】

実施日	令和2年11月2日(月)～14日(土)
内 容	海外マガジン及び除籍図書のリサイクル(無料譲渡)
利用者	延84名

(6) 英語による絵本の読み聞かせ会 [支出額 0 千円]

内 容	英語の絵本の読み聞かせ会、外国の言葉や文化についての話等 ※新型コロナの影響で中止
-----	--

(7) 韓国語講座 [支出額 259 千円/収入額 269 千円]

実施日等	〈入 門〉 第2・4水曜日(全17回) [令和2年6月3日(水)～令和3年3月3日(水)] 19時20分～20時30分
	〈初 級〉 第2・4金曜日(全17回) [令和2年6月10日(水)～令和3年3月10日(水)] 19時20分～20時30分
	〈会 話〉 第1・3金曜日(全16回) [令和2年6月19日(金)～令和3年3月5日(金)] 18時30分～17時40分
	〈韓国文化講座〉 令和2年10月24日(土) 14時～16時 韓国の講義を実施 ※新型コロナによりオンライン(サテライト会場設置)で実施

実施回数・受講者数

〈入 門〉 全 17 回、延 110 名 [定員 15 名、申込者 15 名]

〈初 級〉 全 17 回、延 88 名 [定員 15 名、申込者 15 名]

〈会 話〉 全 16 回、延 105 名 [定員 15 名、申込者 13 名]

〈韓国文化講座〉 9 名 (オンラインでの参加は 6 名)

受 講 料 韓国語講座 協会会員 8,000 円、一般 10,000 円 (テキスト代別)

韓国文化講座 協会会員・受講生 無料 一般 500 円

#### 4. 外国人に対する情報提供等に関する事業

(1) 情報相談コーナーの運営 (情報提供及び相談への対応) [支出額 1,797 千円]

内 容 生活相談、観光情報、日本語講座関連情報、ボランティア情報等  
相談件数 2,291 件 [日本人 1,694 件 / 外国人 597 件]

(2) 外国人相談センターの運営 [支出額 7,874 千円]

内 容 在留外国人に対する各種相談、情報提供を 19 言語で行った。(対面・トリオフォ  
ン・メールにより、適切な関連機関への取次を実施)

相談件数 278 件

法律相談 14 件

相談員派遣 5 回

(3) 多言語相談事業 [支出額 813 千円]

【多言語相談 [中国語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語・韓国語] (179 回/年)】

実 施 日 <中国語・ポルトガル語>

毎月第 1・第 3 土曜日、第 2・第 4 水曜日 13 時～17 時

<ベトナム語>

毎月第 1・第 3 土曜日 13 時～17 時

<タガログ語>

毎月第 1 土曜日、第 4 水曜日 13 時～17 時 ※トリオフォンによる対応

毎月第 3 木曜日 10 時～14 時

<韓国語>

毎月第 2 水曜日 13 時～17 時 ※トリオフォンによる対応

毎月第 4 水曜日 13 時～17 時

内 容 中国語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語・韓国語の話せる相談員が、  
一般生活相談に対面又は電話で対応。

相談件数 延 42 件

[中国語 5 件/ポルトガル語 20 件/ベトナム語 5 件/タガログ語 12 件/韓国語 0 件]

### 【相談員スキルアップ研修会】

実施日 令和2年10月24日（土）10時30分～12時00分  
内 容 講義「いざという時のための制度横断的な労務知識」、質疑応答  
対 象 多言語相談員及び外国人相談センター相談員  
参加者 9名  
※新型コロナによりオンラインで実施

#### (4) 外国人のための無料法律相談（11回）〔支出338千円〕

実施日 毎月第3土曜日（4月を除く）  
内 容 弁護士が結婚・離婚、交通事故、雇用主とのトラブル等についての相談に対応。  
相談者 延13名〔定員各3名/月〕  
相談件数 延13件  
共 催 岡山弁護士会

#### (5) 行政書士による出入国手続き等相談事業〔支出額2千円〕

実施日 毎月第1・第3土曜日  
内 容 行政書士が出入国手続き等に関する相談に対応  
相談者 延37名〔日本人11名/外国人26名〕  
相談件数 34件  
共 催 おかやま申請取次行政書士連絡会

#### (6) 多文化共生マップ〔支出額165千円〕

実施期間 令和2年4月～令和3年3月  
内 容 インターネットで提供されている地図情報サービスを利用して、多文化共生に必要な施設や団体等の多言語情報を地図上に掲載し、協会ホームページ上で情報を提供。  
掲載言語 日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語  
掲載箇所 143箇所

#### (7) 多言語による情報提供事業〔支出額8千円〕

実施期間 令和2年4月～令和3年3月  
内 容 日常生活に必要な生活情報を簡潔にまとめた「外国人のための岡山生活情報ハンドブック」の内容を随時追加・更新し、協会ホームページから在住外国人に情報を提供  
掲載言語 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、インドネシア語（日本語併記）

## (8) 岡山の魅力発信事業 [支出額 1,197 千円]

実施期間	令和2年4月～令和3年3月
内 容	県内在住外国人等が取材した、おokayまのイチ押し情報を掲載。サイト上のジャンルは「観光」「グルメ」「イベント」「温泉」など
実 績	月12記事(4言語)程度を掲載(年152記事) アクセス総計:5,046件

## 5. 多文化共生社会実現に関する事業

### (1) 日本語講座 [支出額 1,186 千円]

実施日	火曜日 10時～11時40分(入門～中級) [延27回、延155名] 火曜日 18時30分～20時10分(入門～中級) [延28回、延133名] 水曜日 10時～11時40分(入門～中級) [延28回、延162名] 水曜日 18時30分～20時10分(入門～中級) [延29回、延114名] 木曜日 10時～11時40分(入門～中級) [延29回、延224名] 金曜日 10時～11時40分(入門～中級) [延29回、延118名] 土曜日 15時10分～16時50分(入門～中級) [延29回、延134名]
対象者	小学生以上の県内在住外国人
講師	(特)岡山日本語センター(OJC)、岡山日本語教師ネットワーク(ONN)のボランティア講師
受講料	無料(但し、ジャパニーズクラス会員への入会が必要。)
受講者数	延1,040名 [延199回]

### (2) 多文化共生コミュニケーションサポーター派遣事業 [支出額 170 千円]

- ① 行政窓口・学校・医療機関等における外国人と日本人関係者のコミュニケーションを通訳ボランティアとして支援するため、語学レベルの高い人を「多文化共生コミュニケーションサポーター」として登録

登録者 64名(中国語19名、英語33名、ポルトガル語5名、タガログ語3名、フランス語2名、ベトナム語1名、韓国語1名)

- ② 外国人又は学校・行政窓口・病院等からの要請を受け、通訳ボランティアを派遣

実施期間 令和2年4月～令和3年3月  
派遣件数 8件(中国語4件、タガログ語4件)  
内 容 一般8件(児童相談所1件、中学校2件、小学校3件、支援学校2件)  
※医療機関への派遣は、新型コロナの影響で中止

③ 多文化共生コミュニケーションサポーターを対象とした研修会

実施日 令和3年1月15日(金)、16日(土)

内 容 講師 村松 紀子氏

(公益財団法人兵庫県国際交流協会スペイン語通訳相談員・社会福祉士、愛知県立大学外国語学部非常勤講師、医療通訳研究会 MEDINT 代表)

1月15日(金) : 「コミュニティ通訳とは～実践編～」

16日(土) : 「こんな時どうする～事例で学ぶコミュニティ通訳～」

※新型コロナによりオンライン(サテライト会場設置)で実施

対 象 多文化共生コミュニケーションサポーター登録者及び登録希望者

参加者 1月15日(金) : 11名、16日(土) : 13名

(3) 日本語ボランティアスキルアップ事業 [支出額 67 千円]

実施日 令和2年11月14日(土)

内 容 講師 小川 京子氏

学習者が「何ができるようになるか」を考えながら、学習者を中心にした具体的な活動を体験

対 象 県内で日本語ボランティア活動をしている方等

参加者 22名

(4) 日本語教室開設・活動支援事業 [支出額 107 千円]

実施期間 令和2年5月～令和3年2月

内 容 日本語教室を開設又は日本語教室の質的向上や拡充を行うグループ、個人を支援(助成金の交付や教室開設支援サポーターの派遣、教室見学の助成など)

交付件数 1件(教室見学の助成)

(5) 子ども日本語学習サポーター事業 [支出額 499 千円]

① 学校等からの依頼を受け、「子ども日本語学習サポーター」を派遣し、外国人児童・生徒の日本語学習を支援

実施期間 令和2年5月～令和3年2月

派遣件数 13校(小学校8校、中学校5校)

内 容 授業中の別室での個別日本語学習指導、放課後の教科学習補助等

活動回数 延106回

## ② 研修会の開催

実施日 令和2年8月9日(日)

対象 協会子ども日本語学習サポーター登録者、日本語指導者など

内容 第1部：山根 智恵氏（山陽学園総合人間学部言語文化学科教授）

県内の外国人児童生徒の現況、国の動向、子ども日本語学習支援ガイドブックの活用方法、教材について講義を行った。

第2部：武藤 均氏（元小学校校長）

外国人児童の日本語学習支援に携わった経験をもとに、サポートする際に役立つヒントやアドバイスなどを行った。

参加者 12名

## (6) 地域共生サポーター養成・研修事業〔支出額 141 千円〕

### ① 養成講座

実施日 令和3年1月23日(土)

内容 講義「外国人と共に暮らす地域について考えよう」

黒神 直純氏（岡山大学法学部）

報告「岡山県の在住外国人の現状について」

大深 元裕氏（岡山県県民生活部国際課）

※新型コロナによりオンラインで実施

対象 多文化共生や外国人支援に関心のある方

参加者 12名

### ② 研修会

実施日 令和3年1月23日(土)

内容 第1部：多文化共生の活動について

大山マジョリー氏（岡山倉敷フィリピーノサークル元代表）

第2部：多文化共生団体の事例発表

松田 葉子氏（まつだ国際法オフィス）

ファルジア・アナイス氏（高梁市役所企画政策課）

※新型コロナによりオンライン（サテライト会場設置）で実施

対象 一般県民、地域共生サポーター登録者（岡山県に登録）

参加者 26名

## (7) 岡山県地域国際化推進団体連絡協議会（2回）〔支出額 100 千円〕

実施日 <第1回>令和2年7月10日(金) 13時30分～15時30分

<第2回>令和3年2月19日(水) 13時30分～15時45分

内容 総会及び構成団体の資質向上につながる研修会を実施

<第1回>総会と研修会

「美作市の取り組み～多文化共生を目指して」

臼井 絵理氏（美作市企画振興部営業課）

サ・ティ・ジャン氏（美作市ベトナム嘱託職員）

〈第2回〉研修会と会議

「当事者主体のコミュニティとひとづくり～箕面市国際交流協会の実践から考える」  
岩城 あすか氏（公益財団法人箕面市国際交流協会総務課長・箕面市立多文化交流センター館長）

※第2回は新型コロナによりオンラインで実施

対 象 岡山県地域国際化推進団体連絡協議会の構成 17 団体及び各市町村職員

参 加 者 〈第1回〉総会 24 名、研修会 25 名 〈第2回〉研修会 24 名、会議 22 名

#### (8) 日本語学習支援等事業〔支出額 107 千円〕

目 的 日本語教材の貸出

場 所 岡山国際交流センター 4階 図書資料室

対 象 （貸出対象者）日本語教師ボランティア、子ども日本語学習サポーター

事業内容 日本語学習リソースコーナーの運営、図書資料の購入及び貸出業務

#### (9) 日本文化紹介事業〔0 千円〕

内 容 在住外国人と日本人参加者が集い、交流し理解を深める。

※新型コロナの影響で中止

#### (10) 「やさしい日本語」の普及事業〔支出額 65 千円〕

実 施 日 令和3年2月13日(木)

内 容 漫才を通じて「やさしい日本語」を学ぶ

※新型コロナによりオンラインで実施

対 象 協会ボランティア、日本語ボランティア、学校教諭、

多文化共生コミュニケーションサポーター、地域共生サポーター等

参 加 者 45 名

## 6. NGO・NPO・ボランティアの育成・支援に関する事業

### (1) ボランティア登録制度の運営 [支出額 252 千円]

#### 【国際ボランティア人材バンクの管理運営】

内 容	国際ボランティア（通訳・翻訳、ホームステイ・ホームビジット受入、日本語指導、協会サポーター等8分野）の登録、ボランティア紹介等
登 録 者	延 353 名（分野別登録者の計）
活動実績	延 1,597 名
通訳・翻訳ボランティア	延 67 名（英語 13 名、中国語（簡体字）12 名、中国語（繁体字）4 名、韓国語 5 名、ベトナム語 12 名、ポルトガル語 15 名、フランス語 2 名、タガログ語 1 名、スペイン語 1 名、インドネシア語 1 名、タイ語 1 名）
ホームステイ受入	延 0 家庭
ホームビジット受入	延 0 家庭
日本語指導ボランティア	延 983 名（OJC 573 名、ONN 410 名）
日本文化紹介	延 0 名
外国紹介	延 12 名
協会サポーター	延 4 名
協会ボランティア 情報相談コーナー	延 175 名
協会ボランティア 図書資料室	延 356 名

#### 【ボランティア全体研修会】

実施日	令和3年3月7日（日）10時～12時
内 容	第1部：講義「国際交流を通じて多文化共生社会を築く」 長木 愛氏（岡山青年国際交流会 会長） 第2部：活動報告会「ベトナム食文化紹介」 チャン ティ ラン アイン氏（外国紹介ボランティア） ※新型コロナによりオンライン（サテライト会場設置）で実施
対 象	協会のボランティア登録者
参加者	26名（Zoom20名、サテライト会場6名）

### (2) 災害時多言語支援センター設置事業 [支出額 473 千円]

内 容	① 災害時の外国人支援のために、岡山県災害時多言語支援センターの設置・運営の手順を具体的に書いた「設置・運営マニュアル（実務者用）」をもとに、職員等を対象にした研修訓練を実施 ② 災害時多言語支援センター運営に必要な物品、備蓄品を整備
実施日	①令和2年11月10日（火）9時30分～17時
参加者	①23名（協会職員9名、県職員6名、岡山市職員8名）

### (3) 災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修事業 [支出額 203 千円]

実施日	第1回: 令和2年11月22日(日)、第2回: 令和3年2月11日(木祝)
参加費	無料
対象	◦ 災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)登録者 ◦ 外国語通訳・翻訳の知識及び経験を有する人で、災害時の外国人支援に関心のある人
内容等	<第1回> 参加人数 27名 共催 岡山県、岡山市、岡山ロータリークラブ 内容 災害時の外国人支援に関する講義及びワークショップ ※新型コロナによりオンライン(サテライト会場設置)で実施  <第2回> 参加人数 17名 共催 岡山県、岡山市 内容 災害時の外国人支援に関する講義及びワークショップ ※新型コロナによりオンラインで実施

### (4) 災害時の外国人セーフティネット構築事業 [支出額 0 千円]

内容	◦ 日本人及び在住外国人で、日本語以外の言語もできる人 ◦ 地域の外国籍市民に対し、各言語で情報提供できる人 ◦ 災害時に避難所等の巡回活動に参加できる人 以上の人を「災害時多言語支援リーダー」として登録 ※県登録ボランティアへの統合を検討することとし、「災害時多言語支援リーダー」募集中止
----	---

### (5) NGO団体の運営助成事業 [支出額 100 千円]

実施期間	平成2年4月～令和3年2月
内容	NGO等の活動を支援するため、(特)岡山県国際団体協議会に助成金を交付

### (6) NGOの活性化支援事業 [支出額 99 千円]

実施期間	令和2年4月～令和3年3月
内容	NGO団体を支援し、地域の国際交流・協力活動等の活性化を図るため、活動の一部を助成。1件につき上限5万円
助成団体	2件 ・曹永姫韓国伝統舞踊研究所 ・合同会社ダフェプロジェクト

## 7. 岡山国際交流センターの管理運営

### (1) センターの施設及び設備の管理

#### (2) 岡山国際交流センター貸会議室利用促進事業〔支出額 358 千円〕

- 内 容
- ・タウンページ広告掲載
  - ・新規利用者の開拓（パンフレット郵送等） 427 通
  - ・貸会議室PR用パンフレットの修正及び再版

#### (2) 岡山国際交流センター ホームページの運用〔支出額 304 千円〕

ホームページを利用して、センターと協会の事業を紹介するとともに、岡山国際交流センター貸会議室の施設情報や利用方法等を掲載した。

## 8. その他

### (1) 会報誌「おかやま国際交流」の発行〔支出額 778 千円〕

会報誌「おかやま国際交流」を年4回発行（10頁／各号1,100部）

### (2) 協会ホームページの運用〔支出額 2,620 千円〕

協会のイベント、国際交流・国際理解、外国人支援等の情報を提供

年間ページビュー数（令和2年度）延 76,568 件

年間新規ユーザー数（令和2年度）延 16,555 件

### (3) 会員の状況（令和3年3月31日現在）〔支出額 67 千円／事業収入 938 千円〕

#### 正会員

① 個人会員	205 名	（会費 年額	2,000 円）
② 団体会員	33 団体	（会費 年額	10,000 円）
③ 賛助会員	4 団体	（会費 年額	30,000 円）
ジャパニーズクラス会員	39 名	（会費 年額	2,000 円）